令和８年（2026）１２月４日～１２月９日

令和８年度（２０２６）

第５回出雲市議会(定例会)

一般質問通告一覧表

令和８年度（2026）第５回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表　目次

１２月４日（金） 10:00 開会			１２月７日（月） 10:00 開会			１２月８日（火） 10:00 開会			１２月９日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	保　科　孝　充	3	1	今　岡　久　人	10	1	鐘　推　義　憲	17	1	長　島　和　孝	24
2	石　橋　広　信	4	2	樋　野　千　晴	11	2	後　藤　由　美	18	2	糸　賀　太　郎	25
3	川　上　雅　文	5	3	大　村　朋　寛	12	3	福　田　　実	19	3	三　島　好　弘	26
4	成　相　寛　之	6	4	大　場　利　信	13	4	湯　淺　啓　史	20			
5	今　岡　真　治	7	5	錦　織　　稔	14	5	児　玉　俊　雄	21			
6	坂　本　祐　麻	8	6	吉　井　安　見	15	6	吉　岡　拓　也	22			
7	三加茂圭祐	9	7	板　倉　一　郎	16	7	宮　本　　享	23			

質問者	２５	保　科　孝　充

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 「山陰新幹線」「中国横断新幹線」整備に向け早期構想実現を伺う

① 「山陰新幹線」「中国横断新幹線（伯備新幹線）」構想の実態を伺う
　ア 山陰新幹線の構成自治体と事務局体制を伺う
　イ 中国横断新幹線（伯備新幹線）の構成自治体と事務局体制を伺う

② 四国新幹線は1973年に基本計画に位置付けられたが、半世紀以上経過しても「整備計画」にはいたっていない。国は2026年の8月に需要推計・ルート案の検討を行う「ケーススタディ」を行うと発表した。その一方で四国4県は岡山から「瀬戸大橋」を経由して各県をつなぐ「岡山ルート」に要望を一本化した
　ア 島根県・鳥取県・新幹線構想参加自治体の調整状況
　イ 二つの新幹線構想は、国の整備に向けてどの段階か

③ 整備効果の試算について伺う
　ア 「山陰新幹線」の整備費・整備年数と短縮時間
　イ 「中国横断新幹線（伯備新幹線）」の整備費・整備年数と短縮時間

④ 出雲市としては二者択一ではなく、「中国横断新幹線（伯備新幹線）」の整備方針に態度を明確にすべきと思うがいかがか

(2) 第10期介護保険事業計画作成に向けての課題を伺う

① 平成23年の合併後（平成24年度）と現在との比較を伺う
　ア 介護保険料
　イ 被保険者数
　ウ 利用者数
　　a 特別養護老人ホーム利用者数と待機者数
　　b 在宅利用者数
　エ 全体事業費

② 第9期終了までの課題・問題点を伺う

③ 介護事業者の経営状況等を伺う(11/14・17の山陰中央新報記事から)
　ア デイサービスの送迎と訪問介護の報酬について伺う
　イ 厚生労働省は2025年の経営実態調査で約38％が赤字としている。出雲市内の事業者の経営実態を伺う
　ウ 第10期計画以降の各事業者の安定的な経営に向けて、市の考え方を伺う

質問者	１３	石　橋　広　信

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 電子投票の導入による選挙事務の効率化と利便性向上について

① 現行の選挙事務の現状について伺う

ア 本市における開票事務の現状について

開票時間、職員の勤務時間、人件費、疑問票の対応の現状等

② 先進事例（香川県善通寺市等）における成果に対する所見を伺う

ア タブレット型電子投票システム導入による開票時間短縮、開票人件費削減、使いやすさ、疑問票ゼロ化などの成果について

③ 本市における導入検討と条例整備への考えについて伺う

ア 市長選挙・市議会議員選挙における電子投票条例の制定および導入に向けた検証・準備を進める考えの有無について

④ 電子投票導入した場合の効果と市民への周知・体験の機会について伺う

ア 投票者の利便性向上、疑問票防止について

イ コストと効果の検証について

ウ 市民への周知、体験の機会について

(2) eスポーツの活用による地域の活力創出と福祉・共生社会の推進について

① 高齢者の健康増進やフレイル予防の観点から市としてeスポーツを取り入れた通いの場づくりや体験事業を実施・支援する考えがあるのか伺う

② 全世代が自然に集う交流の場として、eスポーツを活用した事業やコミュニティ形成支援を推進することについて、市の見解を伺う

③ 障がいのある方の社会参加の促進や、新たな就労支援・活躍の場としてバリアフリーeスポーツの取組みを導入・支援していく考えはあるのか伺う

④ 本市において、福祉・教育・地域振興等の横断的な連携のもと、eスポーツを地域福祉や活力創出に活かしていくための基本方針や、今後の具体的な展開についての考えを伺う

質問者	１０	川　上　雅　文

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 学校及び通学路における防犯カメラの設置について

① 市内小中学校における防犯カメラの設置状況について伺う

ア 市内小中学校における防犯カメラの設置状況及び設置台数はどうなっているか。

イ 学校の校門、昇降口、校舎周辺、駐車場等、どのような場所に設置されているか。

ウ 防犯カメラが未設置の学校について、今後の設置方針をどのように考えているか。

② 通学路における防犯カメラの設置について伺う

ア 通学路における防犯カメラの設置状況をどのように把握しているか。

イ 児童生徒の登下校時の安全確保に向け、通学路の危険箇所への防犯カメラ設置の必要性をどのように認識しているか。

③ 学校及び通学路への防犯カメラ設置に係る財源確保について伺う

ア 学校への防犯カメラ設置に当たり、国や県の補助制度をどのように把握し、活用しているか。

イ 国や県の補助制度を活用した防犯カメラの設置実績はあるか。

(2) 中学校部活動の地域展開（地域移行）の現状と今後の課題について

① 本市における現在の地域展開の進捗状況について伺う

ア これまでの取組の経過と、現在の地域展開の進捗状況はどうなっているか。

イ 地域クラブの登録数、活動種目、参加生徒数及び受入れ可能人数は、どの程度確保されているか。

ウ 競技や文化活動、地域によって受入れ状況に差は生じていないか。

② 地域クラブの運営体制と指導者の確保について伺う

ア 地域クラブの運営主体や責任の所在は、どのように整理されているか。

イ 地域指導者の確保、研修、報酬及び活動中の事故等に対する責任体制は、どうなっているか。

ウ 学校、教育委員会、地域クラブの役割分担は明確になっているか。

③ 大会参加や移動に伴う課題について伺う

ア 中体連主催大会などへの参加について、地域クラブの参加資格や引率、申込み等の手続きはどのように整理されているか。

イ 大会や練習会場への生徒の送迎について、誰がどのような責任を担うのか。

ウ 活動中や大会参加時の事故・けがに備える保険の加入及び補償の範囲は、どのようになっているか。

④ 生徒・保護者への影響と支援について伺う

ア 活動場所、移動手段、参加費用など、生徒や保護者の負担をどのように把握しているか。

イ 地域クラブに参加する生徒と、参加しない生徒との間で、活動機会や学校生活上の不公平が生じないよう、どのように対応しているか。

⑤ 今後の方向性と教育委員会の役割について伺う

ア 今後の地域展開について、具体的なスケジュールと目標をどのように設定しているか。

イ 地域や学校ごとの事情により移行が困難な活動について、どのように支援していくのか。

質問者	6	成　相　寛　之

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 小中学校の水泳授業の実施状況と今後の方針について

① 小中学校の水泳授業の実施状況及び今後の方針について
　ア 市内各校の水泳授業の実態について（集約、民間委託、公設プール利用等）
　イ 今後の水泳授業の実施方針について
② 学校プール施設の老朽化と維持管理の状況について
　ア 老朽化の状況と修繕・更新に必要な費用について
　イ 維持管理費や水道光熱費などの経費について
　ウ 学校プールの老朽化や維持管理を踏まえた将来方針について
　エ プールの集約化や公設プールの利用の可能性について
③ 水泳授業に伴う教員負担の実態について
　ア 水泳授業に伴う教員の業務負担について
　イ プールの清掃、水質管理、注水、排水などの管理業務について
　ウ 授業中の安全管理や事故防止に関する負担について
　エ 教員の働き方改革の観点からの課題認識について

(2) 防災機能を備えたインクルーシブ公園の整備について

① インクルーシブ公園の実現に向けた取組みについて
　ア 市はインクルーシブ公園の必要性をどのように捉えているか。
　イ 現在、市内の公園において、誰もが利用しやすい環境整備はどこまで進んでいるか。
② 公園トイレの改修状況及び洋式化の推進について
　ア 市内公園の老朽化したトイレの改修予定はあるのか。
　イ トイレの洋式化は進める予定はあるのか。
③ 防災機能を備えた公園整備に向けた検討について
　ア 指定緊急避難場所の公園を防災公園へ改修していく考えはないか。

質問者	１６	今　岡　真　治

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 出雲市のスポーツ施設および公園施設の維持管理と今後のあり方について

① 佐田スポーツセンター運動広場の照明塔倒壊を踏まえた安全管理体制について

ア 倒壊の原因と、昨年の点検で腐食を確認してから倒壊に至るまでの市の対応・判断の検証について伺う

イ 市内の全スポーツ施設・都市公園における照明柱等の緊急一斉点検の実施予定

② 湖陵総合公園野球場をはじめとする施設不具合の解消と維持管理の現状について

ア 湖陵総合公園野球場におけるスコアボード故障・ナイター設備不具合の把握状況と、修繕・更新のスケジュール

イ 設備不具合のまま供用している他施設の有無と優先的な修繕計画

ウ 指定管理者制度における修繕費の分担基準と、現場の修繕要望を迅速に予算化・執行するための改善策

③ 老朽化した施設の長寿命化と、限られた予算の中での今後の施設のあり方について

質問者	2	坂　本　祐　麻

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 出雲市立総合医療センターの今後の方向性について

① 出雲圏域における総合医療センターの役割について

ア 高度急性期病院や民間病院がある出雲圏域において、総合医療センターが担う役割の位置づけについて伺う。

イ ポストアキュート・サブアキュート・レスパイト入院、平田地域の在宅医療の現状と今後の重点について伺う。

ウ 新たな地域医療構想に向けた県との協議の状況について伺う。

② 経営の現状と今後の立て直しについて

ア 入院需要は今後も増える見込みとされる中、患者数が伸びず医業損失（赤字）が拡大している要因の分析について伺う。

イ 強みと捉えている分野と、今後収益の柱として伸ばしていく分野、増えていく需要の取り込み方について伺う。

ウ 経常黒字化の目標と達成の見通し、段階的な改善目標の設定について伺う。

エ 内部留保資金の今後の見込みと、繰出基準の見直しの要望、市財政の立場からの見解、資金不足が生じた場合の市の対応について伺う。

③ 健診センターの活用について

ア 改修後の健診センターの利用状況と今後の活用方針について伺う。

イ 市外・県外からの受診や、企業との法人契約の拡大について伺う。

質問者	4	三　加　茂　圭　祐

質　問　事　項　・　質　問　内　容

(1) デジタル時代の子どもの学びについて

① 第２期いずもGIGAスクールプランで指標として掲げている「ICT機器を週３回以上使用した児童生徒の割合」について、全国と出雲市の指標に大きな乖離が生じているが、令和８年度の状況は如何か。全国とギャップがある場合は、小学校、中学校それぞれでどのような要因があると分析しているか伺う。

② 第２期いずもGIGAスクールプランでは、令和１２年度に「ICT機器を週３回以上使用した児童生徒の割合」を１００％とすることを目標に掲げているが、今後どのような施策を講じていく考えか伺う。

③ 教育委員会では、市内各校のICT活用事例や課題をどのように把握し、ノウハウとして蓄積・共有しているか実態を伺う。

④ 市内小中学校で学習支援ソフトやデジタル教材等から、児童生徒の学習履歴をはじめとした教育データを収集・蓄積することが可能となっているか。また、児童生徒の教育データを個別最適な学びの実現にどのように活用しているか伺う。

⑤ 「出雲市立学校における生成AIの利活用に関するガイドライン」の策定後、市内小中学校では、生成AIを活用したどのような教育が実践されているか伺う。

質問者	１５	今　岡　久　人

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容
(1) 本市の今後の観光政策について
① 出雲大社を中心とする観光をどのように進めるのか伺う ② 市内の周遊観光、近隣地区との移動はどのようにして組み立てるのか伺う ③ インバウンド対応はどのように組み立てるのか伺う
(2) 半年に迫ったトキ放鳥の取組状況について
① トキ放鳥に向けた諸準備体制の現状を伺う ② 出雲に定着させる方策を伺う ③ 放鳥に向けて出雲市全体の気運を盛り上げる方法を伺う

質問者	7	樋　野　千　晴

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 本市における学校給食費無償化に係る非喫食児童への対応について

① 本市が実施する学校給食費無償化の現状と課題について伺う

ア 給食費負担軽減交付金の交付申請において、R8年度分の算定のもととなった児童数について

イ 本市の児童一人当たりの給食費と給食費無償化の実施に伴う本市の財政負担について

② 給食費負担軽減交付金実施要領の一部改正により明示された非喫食児童への対応について、市の考えを伺う

ア やむを得ない事情（重度のアレルギーその他の疾患、不登校、宗教上の理由等）により、恒常的に学校給食を喫食できない児童の数と非喫食児童への対応について

イ 不登校による非喫食児童への給食費相当額の金銭給付又は現物給付の考えについて

質問者	1	大　村　朋　寛

質　問　事　項　・　質　問　内　容

(1) 今後の学校施設の整備について

① 出雲市学校施設整備・長寿命化計画策定後における地域住民および保護者との対話と合意形成の手続きについて伺う

② 出雲市学校施設整備・長寿命化計画の妥当性の検証と市民全体への効果・還元策の共有について伺う

③ 将来の状況変化や劣化状況に応じた整備手法の再検証について伺う

(2) 豪雨災害に対する備えの強化について

① 斐伊川の特性に関する分かりやすい情報の共有について

ア 斐伊川下流部が天井川で、堤防が砂質分を多く含み漏水しやすい構造であることについての市の認識を伺う

イ 早期避難を促すため、河川管理者と連携し、堤防の特性や漏水リスクを含めた情報発信を充実させる考えはあるか伺う

ウ 次期ハザードマップ改訂時、浸水想定に加え、天井川や漏水リスクといった地域特有の水害リスクを具体的に掲載する考えはあるか伺う

② 水防体制の強化について

ア 消防団に依存する現在の水防体制の課題と、その改善策についての市の考えを伺う

イ 町内会や自主防災組織と連携し、スマホ通報機能（パトレポしまね等）を活用して住民から堤防の異常を収集する体制を強化する考えはあるか伺う

③ 大雨・水害時における車両の水没防止対策と避難場所の確保について

ア 車社会の本市において、生活再建の観点からも重要となる「車両の浸水被害抑制」に対する市の認識を伺う

イ 既存の避難場所等の駐車場について、車両避難先としての浸水リスク、受入可能台数、周辺道路の安全性の検証状況と課題を伺う

ウ 車両の避難場所確保に向けた調査・検討の現状を伺う

エ 車両移動が困難な場合に備え、「車両用浸水防止シート」等の自衛手段について市民へ情報提供する考えはあるか伺う

質問者	２３	大　場　利　信

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 最近の経済状況の本市の施策等への影響について伺う

① 市内の民間企業への総体的な影響について

ア 個人消費はGDP（国内総生産）の6割を占めると言われ、デフレからの脱却を目指す政府も民間企業の賃上げに力を入れていますが、これについての状況及び国の支援策についての市の考えも伺います。

イ 従業員の賃上げができない企業あるいは製品に価格転嫁できない企業もあると聞きますが、これについて伺います。

ウ 設備投資の全体的な状況を伺います。

エ デジタル化への支援について全体的な状況を伺います。

② 地域を支える交通網の整備策への影響について

ア 8の字ルートの早期建設については東京にて総決起大会が開催され、関係者が集合し国へ強く要望いたしました。出雲市も大きな推進母体として具体化に向けた運動が必要と考えます。厳しい経済状況の中ではありますが、今後の計画等を伺います。

イ そのほか、市内には多くの国・県道路が整備されていますが、主な整備事業の進捗への影響について伺います。

③ 市財政に求めるもの

市財政についても、金利の上昇や物価上昇に伴う事業単価の上昇などにより厳しい財政運営を余儀なくされていますが、ゼロ債務負担行為を活用するなど地域活性化を進める財政運営を求めたいですが、これについて伺います。

(2) フレイルに対する「社会的処方」の活用について伺う

① フレイルの意味を伺う。

② 骨太の方針で述べている社会的処方の内容を伺う。

③ 本市におけるフレイル状態の人数を伺う。

④ 高齢者保健・介護予防連携事業の概要と実績を伺う。

⑤ 医療と地域社会を繋ぐものとして「社会的処方」の考えを活用することの意向を伺う。

⑥ 認知症についても同様な対策が必要と思われるがこれについて伺う。

質問者	１９	錦　織　　稔

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容
(1) 学校における「実践的な避難訓練」について
① 想定外を前提とした「避難訓練」の導入状況と課題 ② 地域特性（水害・津波・原子力災害等）に応じた個別具体的な訓練計画 ③ 教職員の危機管理能力と「初動対応・判断力」を高める実践的トレーニングの現状 ④ 保護者と連携した「引き渡し訓練」等の現状 ⑤ 障がいのある児童生徒や特別な配慮を要する子どもへの個別避難支援の検証

質問者	１１	吉　井　安　見

質　問　事　項　・　質　問　内　容

(1) 災害防除のあり方について

① 中山間地域の落石対策について

ア 現在の落石対策について、要対策箇所数、着手箇所の選定（優先順位）に対する考え方、対策工事の実施状況と完了時期の見通しを伺う。

イ 計画を住民と共有し、優先度の判定に住民の声を取り入れるべきと考えるが、所見を伺う。

② 平野部における排水対策について

ア 宅地化等による土地の保水力低下、排水路への雨水の流入増についてどのような対策が行われているのか伺う。また、住民への情報提供や相談体制はどうなるのか伺う。

(2) 生活困窮者自立支援制度について

① 生活困窮者自立支援法に基づく、支援会議の設置状況を伺う。また、国は生活困窮の端緒を把握し、支援につなげるために水道事業者等と福祉部局の連携強化の重要性を指摘している。連携の状況を伺う。

② 制度の円滑な実施と確実に支援につなぐためには、生活に困りごとを抱える市民への積極的なアウトリーチが重要である。福祉部局と市役所内の他部局、また、支援関係機関との連携は十分に図られているのか伺う。

(3) 子育て環境の整備について

① 今年度から小学校給食の無償化が実施されている。保護者から歓迎の声があるとともに無償化の継続を求める声がある。来年度以降も継続して実施することを求めるが、所見を伺う。また、不登校児童等への支援についての検討状況を伺う。

② 放課後児童クラブの待機児童の解消に向けた取り組みと今後の需要予測について伺う。

③ 市が実施している保育補助事業は現場からも好評である。市内保育所（園）の職員数の現状を伺う。また、近年の物価高騰、人件費上昇の動向をふまえ、補助単価の引き上げが必要と考えるが、所見を伺う。

質問者	２８	板　倉　一　郎

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 出雲市の中学校教育について

① 中学校の不登校生徒の現状認識と支援について

ア 出雲市の中学校生徒１，０００人当たりの不登校生徒数の割合は、全国および島根県を上回っている現状がある。そこで、現状をどのように認識され、現在どのような支援をされているのか伺う。

イ 中学校卒業後も見据えた行政内部の連携体制および卒業後の支援について伺う。

② 島根県公立高校の入試制度に令和７年度から導入された「特色入学者選抜制度」の評価と課題や対策について

ア 特色入学者選抜制度の内容および、この制度により入試が２回実施されたが、その現状（受験者数や合格者の割合など）を伺う。

イ 制度の評価と課題について、どのように考えているのか伺う。

ウ 受験者の課題として、合格者は学習意欲の維持、また不合格者は３月に実施される一般選抜に向けた負担が指摘されている。教育委員会として、どのように対応されているのか伺う。

③ 地域と連携した人材育成について考えを伺う。

質問者	１４	鐘　推　義　憲

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) トキの放鳥に向けた「トキによるまちづくり」の進捗状況、ブランド戦略およびプロモーション戦略、地理的表示（ＧＩ）保護制度の活用について

① トキ放鳥に向けた実施体制の現況と「トキによるまちづくり」の進捗状況
　ア 餌場・生息環境整備の進捗と維持管理の継続性について
　イ 放鳥体制・モニタリング・観察マナーの徹底等について
　ウ 「トキによるまちづくり」の全市展開とアクションプランの進捗状況について

② トキによるブランド戦略の方針と環境保全型農業・地域産業・稗原農業ビジョンとの連動
　ア ブランド戦略の全体方針と統一ロゴについて
　イ 環境保全型農業の取組状況について
　ウ 本市独自認証制度の基準・価格形成・販路、地域産業との連携について
　エ 「稗原農業ビジョン」および農業ＤＸ・担い手支援への取組みについて

③ トキによるシティプロモーション戦略・シビックプライド醸成の取組みと今後の展望
　ア シティプロモーション戦略の全体方針と対外発信について
　イ シビックプライド醸成および「（仮称）出雲市トキによるまちづくり条例」について

④ 地域産品の価値向上と持続的発展に向けた地理的表示（ＧＩ）保護制度の活用について
　ア ＧＩ制度導入や活用に対する本市の認識と可能性について
　イ 段階的なブランド育成と中長期的な展望について

質問者	１７	後　藤　由　美

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 障がい児施設で働く人材確保について

① 市独自施策として始めた、障がい児相談支援事業所に対する補助制度があるが、現状と、この制度に対する見解を伺う。

② 日中、障がい児施設などで子どもの一時預かりを行う事業者に対して支援をする「日中一時支援事業」があるが、この単価が低く、経営上困っているという声がある。事業の改善・見直しの考えはないのか伺う。

③ 障がい児施設で働く人材が増え定着する上で、介護分野で１０月から始まった「新規就労者奨励金」などの支援が障がい児施設にも求められていると考えるが、市の所見を伺う。

(2) 学校給食調理業務の民間委託について

① 民間委託の必要性について

ア 民間委託の理由として「正規職員が退職により減少していく」ことをあげている。人員確保をあげるなら、正規職員の採用や調理員の処遇改善などが必要だったと思うが、所見を伺う。

イ 民間委託することで、市の財政負担がどう変化すると予想しているのか、向こう３年間の直営・委託費の比較を伺う。

② 調理員の雇用と労働条件について

ア 現在、平田・斐川両センターで働いている正規職員、会計年度任用職員はそれぞれ何人か。市は「希望する調理員は委託業者に雇用され豊富な経験を生かして引き続き調理業務に従事します」と言っている。現時点で雇用継続を希望する職員の見通しはどうなのか。また、調理員等への雇用説明会ではどのような意見・疑問などが出されたのか、伺う。

イ 現行の給与や賞与、諸手当、休暇、勤務時間などの処遇が、民間委託後も同様に保障されるのか、伺う。

③ 給食の質と安全性、食育を守る責任について

ア 現在、栄養教諭・学校栄養士と調理員は、日々連携し子どものためにおいしい給食を作っている。調理員の経験や現場の意見を述べたりする仕組みは、委託後どう維持されていくのか、伺う。

イ 食中毒や異物混入、食物アレルギー事故などは発生した場合、市と委託業者の責任分担はどうなるのか、伺う。

質問者	１２	福　田　　実

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容
(1) 出雲市の水産振興について
① １０年前と現在の漁業従事者数を伺う。 ② １０年前と現在の年間水揚げ量、年間水揚げ金額を伺う。 ③ 市の水産振興に係る補助制度の内容を伺う。 ④ 出雲市管理漁港長寿命化計画の進捗と達成状況を伺う。 ⑤ 次期１０か年計画の策定方針を伺う。 ⑥ 国・県補助金の最大活用の考え方を伺う。 ⑦ 市として今後の水産振興の考えを伺う。

質問者	２１	湯　淺　啓　史

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 健全化判断比率（将来負担比率）と出雲市財政計画の視点について

① 将来負担の現状について、次の3点に相違ないか伺う。

ア　一般会計が負担する借金（一般会計の市債と、企業債のうち一般会計の負担見込額）は、平成28年度から令和7年度に276億円減ったが、正味の将来負担（将来負担比率の分子）は600億円前後で推移し、6億円の減少にとどまっていること。

イ　将来負担額の約3分の1（令和6年度550億円）を、企業債のうち一般会計の負担見込額が占めること。

ウ　令和7年度の上下水道への繰出金36.8億円のうち、97%が企業債の元利償還に充てられていること。

② 出雲市財政計画は普通会計のみを対象としている。次期財政計画における次の3点について、市の考えを伺う。

ア　公営企業会計などを含めた全体の、借入と返済、一般会計の負担の見通しを示すこと。

イ　会計ごとの計画と実績の差を毎年確かめ、計画の見直しに反映すること。

ウ　物価と金利を複数のパターンで置いた試算を、補助資料として添付すること。

(2) 人口減少期の公共投資をどう判断するか伺う

① 新たな公共施設の整備の判断について、次の点を伺う。

ア　令和9年度予算編成方針が新規事業に求める原則と同様に、新たな公共施設の整備も「集約」を基本とする考えか。また、この考え方は、国や全国知事会が示す方向、人口動向と財政状況、公共施設等総合管理計画の考え方に則しているか。

イ　新たな施設整備を判断する際に、次の4点を基準とし、財政計画への反映と公共施設等総合管理計画の運用に位置づける考えはないか。

ａ　「分散」ではなく「集約」を基本とすること。

ｂ　人口動向と財政状況を踏まえて、ニーズを見極めること。

ｃ　建設費に加え、30年間の維持管理費と更新費を示すこと。

ｄ　交付税で戻る分を除いた、正味の借入額を示すこと。

質問者	１８	児　玉　俊　雄

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 自治会への加入促進策としてのゴミ収集手数料割引制度について

① 本市の自治会加入の状況（加入率の低い地区等）を伺う。
② 自治会への加入促進策として、加入のメリットや加入しないデメリットをどのように説明されているのか伺う。
③ 自治会への加入、非加入に関わるゴミ収集の困り事や苦情がどの程度あるのか伺う。
④ 自治会未加入者も含め本市のゴミ収集がどのように行われているのか伺う。
⑤ 自治会加入者を対象とするゴミ収集手数料の割引制度を作ることについて市の考え方を伺う。
⑥ 自治会離れの対策として自治会とは別枠の地域自治協議会等の制度化について検討されたことがあるのか伺う。

(2) 水稲の再生二期作の現状と今後の取組について

① 本市における再生二期作の現状を伺う。
② 再生二期作に対する支援制度を伺う。
③ 有機米、加工米も含めた再生二期作に対する市の評価を伺う。
④ 今後、市として再生二期作に対してどのような方針で臨むのか伺う。

質問者	5	吉　岡　拓　也

質　問　事　項　・　質　問　内　容

(1) ふるさと住民登録制度モデル事業を生かした関係人口の拡大について

① ふるさと住民登録制度モデル事業の進捗について伺う
　ア　モデル事業に応募した経緯と、本市の提案内容について
　イ　現在の取組状況と、実証に向けた今後の見通しについて
② 担い手活動と登録者への支援の内容について伺う
　ア　本市の担い手活動の内容と、プレミアム登録の要件について
　イ　登録者に提供する支援の内容について
③ 地域側で登録者を受け入れる体制について伺う
　ア　市と登録者の間をつなぐ地域の担い手の確保について
　イ　受け入れを担う地域団体等への支援について
　ウ　ふるさと住民コーディネーターを設置する考えについて
④ 県及びふるさと島根定住財団との連携について伺う
　ア　「しまっち！」など、既存の関係人口の取組との連携について
⑤ 関係人口から移住・二地域居住へのつなぎについて伺う

質問者	２９	宮　本　　享

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 地区自治協会及び自治会・町内会の存続について

① 自治会等加入の重要性・存続意義について改めて伺う。

② 加入率低下の状況について、具体的な数値でもって説明いただきたい。

③ 低下の原因をどう分析しているか伺う。

ア 加入しない原因

イ 脱会する原因

④ 加入率の低下により、どのような弊害が出ているか伺う。

⑤ 未加入者の加入促進のために、これまでどのような対策を実施してきたか、また、その成果をどのように分析しているか伺う。

⑥ 脱会者を防ぐために、これまでどのような対策を実施してきたか、また、その成果をどのように分析しているか伺う。

ア 役員になりたくないという理由による脱会

イ 会費が高いという理由による脱会

ウ その他

⑦ 今後の対策について伺う。

ア 加入促進のための対策

イ 脱会防止の対策

⑧ 自治会加入率を維持している自治体は無いのか。あれば、その対策を参考にすべきと考えるがいかがか。

⑨ もっと抜本的な対策が必要ではないか。例えば、以下の３点を提案したいが市長の見解を伺う。

ア 高齢者のみの世帯は会費を半額にして不足分の一部を市が助成

イ 自治会等加入世帯は年間１万円助成

ウ 自治会等役員報酬制度の設立

(2) 都市計画税の廃止について

① 目的税としての都市計画税の事業充当先と課税対象範囲（地域）について、あらためて伺う。

② 都市計画税の廃止について、どのように考えているのか伺う。

質問者	8	長　島　和　孝

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容
(1) 小学校の校区制度について伺う
① 平成１０年の出雲市立学校校区検討委員会の答申では「個別事情による学校選択の弾力的運用」を求めている。この答申を受けて、市はどのように対応してきたか伺う。 ② 指定学校変更の条件緩和について市の見解を伺う。
(2) 自衛隊市中パレードについて伺う
① 出雲市で自衛隊市中パレードを行うことになった経緯を伺う。 ② 市民の思想の自由、表現の自由は守られるべきか伺う。 ③ 市中パレードによって自衛隊と市民との間に軋轢を生じさせているのではないか。市の見解を伺う。

質問者	3	糸　賀　太　郎

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 出雲大社周辺の渋滞緩和に向けた駐車場案内システムの導入について

① 出雲大社周辺における渋滞対策について、本市が現在取り組んでいる内容を伺う。

② 駐車場の空き情報の不足や特定の駐車場への車両の集中が、交通渋滞に与える影響について、どのように認識しているか伺う。

③ 出雲大社へ向かう主要な交通動線上に、リアルタイムで駐車場の満空情報を表示する駐車場案内システムを導入する考えはないか伺う。

質問者	9	三　島　好　弘

質　問　事　項　・　質　問　内　容

(1) 市役所における事務の効率化と窓口対応時間の短縮について

① 市役所における事務の効率化にむけた取組（ＡＩ―ＯＣＲなど）の状況とその効果を伺う。

② 市役所における窓口対応時間の短縮に関する検討状況を伺う。

(2) 民間における教育機会への支援と学校教育のあり方について

① いずも自主夜間中学について伺う。

ア　７月に開設されたいずも自主夜間中学についての考えを伺う。

イ　いずも自主夜間中学に対する助成の有無と今後の支援を伺う。

② イエナプラン教育について伺う。

ア　イエナプラン教育についての考えを伺う。